

Q 皆保険制度が崩壊する危機感を持って、市民に負担を求めることよりも、後発医薬品に置きかえる働きかけを行ってはどうか。

A 市長 保険者として、皆保険を守る立場でいろいろな形で御協力をお願いしていきます。

● 防犯灯等の電気料金の一括前払いサービスの導入について

Q 平成23年第4回定例会の質疑では取り組む方向であるとの答弁があったが、現状はどうか。

A 会計管理者 今年度から会計処理に取り入れしました。防犯灯と街路灯、7千661基分、2千405万8千900円の電気料の割引額は96万5千286円で、業務の効率化と経費の節減に寄与しています。

Q 基数で一番大きな件数と金額はどうか。

A 会計管理者 7千661基の防犯灯のうち市民生活係で所管している防犯灯が7千510

基、2千340万7千400円で97%です。

Q 水道代、ガス代、電気料金などの拡大を図ってはどうか。

A 会計管理者 民間企業でデータ等の一元化を行い、この予算執行手続の事務処理を財政課で一括して行うことにしました。

● 本庁舎等のわかりやすい案内表示について

Q 増築と既存庁舎改修工事を行い、保健福祉部が本庁舎に移動してくるが、その際にわかりやすい案内表示を掲示してはどうか。

A 総務部長 市長からも、指示を受けておりますので、努力したいと思えます。

● 防災施策について

Q 災害時における避難所運営ゲームの実施は、殺到する人々や出来事に対応すればいいのか、模擬体験することとで災害発生当初に最も必要とされる自助、共助の力を高める研修会でもあると考えるがどうか。

A 総務部長 10月の職員対象に行った初対応訓練の反省で、現場の責任者が迅速かつ適正な判断が大事と報告を受けており、まずは職員からと考えています。

● 釜石の奇跡のDVDは、釜石小学校での防災教育に災害前スマトラ島沖地震の映像を見て、地震の後に大きな津波が来ると授業の内容を思い出し、家族、兄弟、大人を含む地域の方を導き命を守った実話である。このDVDを防災教育に活用してはどうか。

A 教育部長 全小中学校に配布し、小学校には、銚子地方気象台発行の津波防災ビデオ『津波から逃げる』も併せて配布しています。

Q 避難所である小中学校19校の備蓄倉庫内の毛布、おむつ、食料、飲料水、発電機等、県や市の災害時のパネル展示を行い、防災の歴史を見て学び体験してはどうか。

A 教育部長 来年度、全小中学校において銚子地方気象台の出前講座「津波から逃げる」を実施する予定なので、そのような機会にパネル展示等も可能であろうと考えています。

● 子育て支援策について

Q いすみ市は、からたで読み札の「あ」から「ん」までの46文字の防災にまつわる標語を児童から募集し、遊びながらの防災を学んでいる。また、生きた防災として、自衛隊OBの職員らを各学校に派遣する企画も盛り込んでいるそうだが、教育長の見解はどうか。

A 教育長 災害は、地震、台風などの自然現象や事故、火事、伝染病など、また、交通事故、山崩れ、火山の噴火、干ばつ、放射能汚染なども考えられると、多くの観点から意識をすることは、実効ある提案であると考えています。

● 子育て支援策について

Q 県の「子育て応援！チーパスねっと」事業は、平成24年7月2日から実施され、各事業者の協賛を得て、子育て家庭が買い物等の際、各種割引等のサービスを受けられる。運用開始から2か月で、2千474店舗に普及している。市では、10月末に28店舗ということであったが、その後の参加店舗数はどうか。

A 保健福祉部長 11月1日現在、31店舗です。

Q 中学校修了までのお子さんと妊娠中の方の対象者数とその周知はどうか。

A 保健福祉部長 カードは、6月に届いたものです。妊婦の方については、現時点で把握しているのは、50世帯の方へ配布し、また、4カ月健診等で周知しています。

● 子育て支援の充実

Q に積極的に加盟店の拡大・普及に取り組んではどうか。

A 市長 県の事業に協力をしていきます。

● 子育て支援の充実

Q に積極的に加盟店の拡大・普及に取り組んではどうか。



子育て家庭優待カード「チーパス」